大学の「今」をもっと知りたい!!

IKUYU

石巻専修大学
育友会広報誌

［いくゆう］

vol.29
2022.12

ISHINOMAKI
SENSHU
UNIVERSITY

特集

健康で充実した学生生活をサポート

学生保健支援センター

表紙：石鳳祭育友会企画「餅つき体験&餅の振る舞い」

特 集

健康で充実した学生生活をサポート

学生保健支援センター

主体的に学生生活を送ることができるようサポートを行います

2022（令和4）年4月、学生保健支援センターが開設しました。学生保健支援センターは、学生一人ひとりの個性を尊重し、主体的に学生生活を送ることができるようにサポートすることを目的としています。授業や課外活動、進路に関することはもちろん、学生生活を送るうえで発生する様々な困りごとの総合案内窓口となります。学生保健支援センターの開設により、学生の相談内容に応じて保健室、学生相談室及び学生保健支援室と連携しながら、万全の態勢で学生をサポートしています。また、必要に応じて学内の適切な教職員や関係所管へとつなげることもできるようになり、学生相談窓口の一本化が実現しました。

学生保健支援センター（相談窓口）

保　健　室

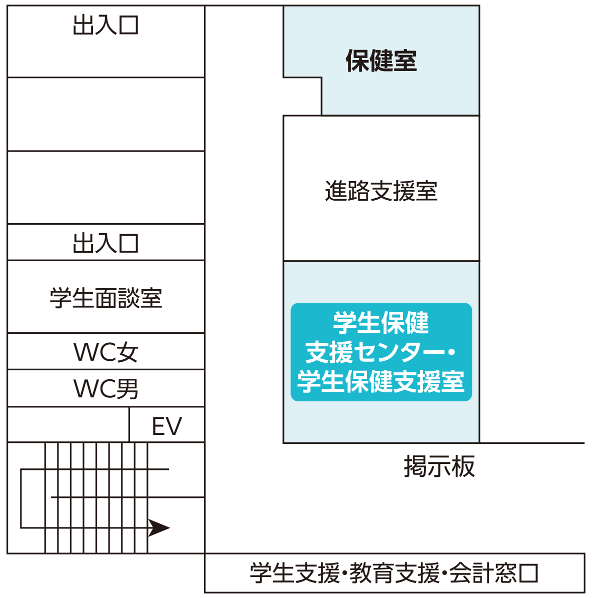
心身の不調の際に利用してください（予約不要）。看護師や保健師が対応します。月1回、精神科医による健康相談も実施しています（予約が必要）。

学生相談室

学生生活全般に関する相談（人間関係、学業、進路、経済生活など）ができます（予約が必要）。カウンセラーが対応します。

学生保健支援室

授業配慮や、障がいに関する相談を受け付けます（予約が必要）。また、サポーターになりたいという方も募集しています。カウンセラーや担当事務員が対応します。



本館1階

場　所　本館1階

開室時間　月～金曜日　10:00～17:00（12:00～13:00昼休み）

※長期休暇期間の開室は別途ホームページでお知らせします。

● 利　用　方　法 ●

- 学生保健支援センターで予約する。
- 電話で予約を入れる。tel.0225-90-9000
- Eメールで予約を入れる。supportcenter@isenshu-u.ac.jp

決めるのは自分 自信を持って社会へ

Message from the Director

学生保健支援センターでは、守秘義務を守りながら、学生本人の考えをよく聞き、解決へと向かうお手伝いをしています。例えば試験前で不安だとか、単位の取り方で悩んでいるとか、どのようなことでも構いません。困ったときはいつでも駆け込んで、お話を聞かせてください。

大学時代は、自立へと向けて、社会に出る最後の段階です。決めるのは自分です。ぜひ早めに相談をして、自信を持って社会に巣立ってほしいと思います。学生だけでなく、ご家族の皆さまのご相談にも対応していますので、どうぞお気軽にご相談ください。

学生保健支援センター長
人間学部教授
博士（教育学）　臨床心理士
佐 藤　正 恵

学びの特徴

新時代で求められる知性、それは「社会知性」だと
本学では考えています。
3学部8学科における「学びの今」をお伝えします。

EDUCATIONAL PHILOSOPHY

理工学部 Faculty of Science and Engineering

生物科学科

特徴

- コースをリニューアル! より多彩な学び、総合的な学びが可能に
- 海から山までフィールドに恵まれた石巻で実践的に学ぶ
- バイオサイエンスの学びを通して思考力と対話力を養う

■海洋生物・環境コース
多様な授業や実験を通して海洋生物と環境に関する幅広い知識を身につけます。生き物や自然に直接触れながら、実践的に学べます。

■動物・植物コース
豊かなフィールドで生物観察や行動調査などの実習を行い、動物や植物の生態・生理・発生・分類・進化について専門知識を深めます。

■微生物・生命分子コース
様々な生命現象を分子レベルから探究することにより生命への理解を深め、授業・実験・実習を通して微生物と生命分子を探る力を総合的に高めています。

■自然科学コース
分野を問わず幅広く自然科学を学びたい人、中学・高校理科の教員をめざしたい人に適したコースです。興味に応じた専門科目の履修が可能です。

機械工学科

特徴

- 2つのコース設定で将来の進路を明確にしながら学ぶ
- 少人数による体験を多く取り入れた学びの環境
- 工学系学科横断の教育プログラム

■機械創造コース
ロボットやエネルギー関連機器などの「ものづくり」に関わる専門知識と技術を習得し、現在の機械産業の課題解決に活用できる創造的な能力を育てています。

■自動車コース
自動車をベースとして、幅広い専門知識と技術を習得しています。東北の大学で唯一、ガソリンとディーゼル両方の2級自動車整備士の受験資格が得られます。

情報電子工学科

特徴

- 自ら手を動かす実践的教育
- 社会のニーズに応える2つのコースを設定
- 多彩な機能を持つ本格的な設備

■情報通信コース
人工知能、IoT、ロボットなどの先進的デジタル技術を駆使して、持続可能で豊かな社会の実現に積極的に貢献できる人材の育成をめざします。

■電気電子コース
半導体デバイス、集積回路に関わる実験、プログラミングを駆使したシミュレーションなどを通して、次代を担う電気電子工学エンジニアの育成をめざします。

食環境学科

特徴

- 理学・工学の視点から食と自然環境の問題にアプローチ
- キーワードは「食」「自然と環境」「人の役に立つ化学」
- 様々な分野で活躍できる技術者・管理者を養成

■食品分析コース
食の安全の基本となる食品成分分析や放射線測定などの技術者を育成します。

■食品工学コース
食品のおいしさや機能性をカガクし、新しい食品を創造する技術を持った食品工学技術者を育成します。

■水環境コース
森・川・海の自然環境調査や水質の浄化、"自然をまもる"技術を身につけた環境管理者を育成します。

※令和4年4月から学生募集を停止。(理工学部 定員変更)

経営学部 Faculty of Business Administration

経営学科

特徴

- 経営・会計・経済・マーケティング・観光など幅広く学ぶ
- フィールドワークを通して実践的に学ぶ
- 専修大学への国内留学で豊かな発想力を育む

■ビジネスマネジメントモデル
事業を成功へと導くために、ヒト・モノ・カネ・情報を有効に活用することができるゼネラリストをめざします。

■企業会計モデル
企業経営における利益測定、企業経営状況の説明、納税額の計算という社会的責任を果たすことができるスペシャリストをめざします。

■地域観光・マーケティングモデル
地域ブランドの創造、魅力あるまちづくり、観光を活用した地域活性化に資する人材をめざします。

情報マネジメント学科

特徴

- ビジネス・データ分析・コンピュータに関する科目をバランスよく学ぶ
- デジタルの力でより良い社会を創るための素養が身につく
- 経営理論やデータを活用し、相手を説得する力が身につく

■ビジネスデータモデル
データに基づいたビジネスを展開するための方法を理論と実践から学んでいます。

■ビジネスデザインモデル
ICTを利活用した新しいビジネスシステムを構築するための方法を理論と実践から学びます。
(就職先例)・高等学校教員(情報)・ICT産業・製造業・卸売・小売業・金融業・建設業・コンサルティング業・NPO・NGO団体・ほか
※新学科の為卒業生実績なし

人間学部 Faculty of Human Studies

人間文化学科

特徴

- 13もの研究室の多彩な学びで人間文化を体系的に学ぶ
- 課題解決型の科目を数多く配置
- 中・高教諭の一種免許、学芸員資格も取得可能

■異文化理解・芸術文芸コース
異文化に関する多角的な知識と諸言語の運用能力、芸術一般に関する幅広い知識を身につけ、文化に関する情報を収集・分析・発信し、地域文化の発展・振興に貢献します。

■地域社会支援コース
地域社会に焦点を当て、地域における社会教育や産業、制作について学び、地域社会の現状と課題について多角的に理解し解決に向けた提案を行うことができる力を養います。

人間教育学科

特徴

- 地域社会に貢献できる人材を育成
- 保育所・幼稚園・小学校に拠点校を設置
- 保育や教育分野の資格取得が可能

■保育所・幼稚園モデル
保育・教育の目的や内容・方法、乳幼児の心理や発達などについて専門的に学び、保育や幼児教育の現場で必要とされる実践技術を習得します。

■小学校モデル
学校教育の目的、内容・方法、幼児・児童の心理や発達、教育的支援の方法などについての専門知識・技能を学び、教育実践を通して教育活動に必要とされる実践技術を習得します。

ISU キャンパス情報展

本学の2022年度を振り返って、保護者の皆様にお伝えしたい学生たちの様々な活動や輝かしい功績の数々、学校の取り組みをご紹介いたします。

2022石鳳祭を開催しました!!

10月8日、9日に「2022石鳳祭」を開催しました。

今年のテーマは「Precious Time」。コロナ禍でも参加された方の記憶に残る、かけがえのない体験や瞬間を提供できるような石鳳祭にしつつ、開催に携わった全ての人にとっても、貴重な時間を共有したいという想いを込めました。

ここ数年の石鳳祭は、台風や新型コロナウイルス感染症の影響により、縮小開催を余儀なくされていました。4年ぶりの通常開催となり、本学に在学している全ての学生が入学してから一度も対面の「石鳳祭」を経験していないという現状のなか、鳥井潤太実行委員長（理工学部情報電子工学科3年次）からの式辞及び開会宣言の後、会場は大勢の来場者で賑わい、拍手と笑いの渦に包まれました。2日間とも快晴に恵まれ、秋深まるキャンパスに多くの学生、卒業生、市民が集まり、学生たちのエネルギーあふれる各イベントでキャンパス内は活気に満ち、見事に「石鳳祭」の復活を遂げることができました。

学生生活

「第99回石巻川開き祭り」に参加しました

石巻市内の最大イベントの1つである「石巻川開き祭り」が、8月6日、7日に3年ぶりに開催され、本学の学生達が参加しました。感染対策を徹底した上での開催となり、久しぶりの祭りを多くの地元住民が楽しみ、会場は熱気にあふれていました。本学からは、学生及び教職員が【縄張神社奉納大綱引き大会】と、【花火の屑拾いボランティア】に延べ60人が参加しました。

地域の方々から学生達の活躍を高く評価いただき、各所で熱い声援と、温かい言葉をかけていただきました。

縄張神社奉納大綱引き大会

本学硬式野球部で構成された大綱引きチームは、順調に勝ち進み、決勝戦でも安定したチームワークで勝利し、見事 **優勝** しました。

ロボット研究会

「学都「仙台・宮城 サイエンス・デイ2022」」にて3つの賞を受賞!

7月17日、ロボット研究会（指導：水野 純教授）が、東北大学川内北キャンパス講義棟で行われた「学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ2022」に出展しました。

ロボット研究会が出展したのは、体験ブース「特別な手袋で自分の手の動きをロボットハンドに再現してみよう!」。今回は、Arduino（アルドゥイーノ）という、数多くの制御システムの用いられているマイコンボードを使って、LEDを光らせたり、音楽を鳴らしたり、ロボットハンドを動かしたりしながら、子どもたちに楽しく電子工作やロボットを体験してもらいました。

また、LEDの制御などで、基礎を学んでもらい、その後にロボットハンドを動かしてもらうことで、子どもたちにプログラミングの基礎からメカトロニクスの仕組みまでをわかりやすく説明しました。

今回、ロボット研究会は「産総研（AIST）賞（2022）」「未来に輝くで賞（2022）」「とても良いで賞（2022）」の3つの賞を受賞しました。

【高大産連携】東北ろっけんまつりで杉田ゼミが「こめぼこ」を販売

経営学部経営学科の杉田博ゼミが、宮城県水産高校と石巻北高校と連携し商品化に取り組んできた米粉入りかまぼこ「こめぼこ」!

8月21日、プロ野球 東北楽天ゴールデンイーグルス1軍戦が行われた楽天生命パーク宮城で杉田ゼミの他、石巻北高校、宮城県水産高校の生徒たちも参加し、精力的に「こめぼこ」のPR活動を行いながら販売しました。

今回販売した「こめぼこ」は、保存料や着色料・人工甘味料などを一切使わない無添加の練り物作りにこだわる高橋徳治商店協力のもと、コーン入りとプレーンタイプが3個ずつ入った6個入り（税込み400円）の商品です。気づくと行列ができ、販売開始から多くのお客様に購入いただきました!

【学生生活】石巻市消防団（石巻専修大学モデル学生消防団員）辞令交付式が開催されました。

10月22日石巻市防災センターにて、石巻市消防団（石巻専修大学モデル学生消防団員）辞令交付式及び第1回目の座学講習が開催され、本学学生5名が参加しました。

緊張した面持ちではありましたが、石巻市消防団長より一人ひとり辞令が交付され、その後石巻市長へ表敬訪問を行いました。

講習は4回に分けて、規律訓練や消防に関する基礎的な訓練が行われます。今回の講習では真剣な表情で受講する学生たちが印象的でした。在学中に消防団員として1年以上活動した学生に対しては、地域に貢献したことを市から証明されるため、就職活動等でも積極的にアピールできる活動です。

【生物科学科】金華山で神鹿角切り行事祭に参加

10月2日、宮城県石巻市の離島・金華山で野生のシカの角を切り落とす伝統行事が行われ、この島で野生動物の生態学的研究を行っている辻研究室（中川研究室含む）がお手伝いをしました。

シカの角切りは秋に発情期を迎え気性が荒くなるオスジカが参拝客に危害を加えないように角を切り落とす、神社の行事です。金華山島には野生のシカが約500頭ほど生息しており、1963年から毎年、角切り行事を行っています。（わが国では奈良公園と金華山だけで行われています）参加した学生たちは、勢子が捕獲しやすいようにシカを誘導したり、捕獲されたシカに水をかけて体を冷やすなどの作業を行いました。当日は晴天に恵まれ、多くの観光客でにぎわいました。

【経営学科】庄子ゼミ 登米市沢田地区における地域との交流会に参加!

6月7日、本学経営学部の庄子ゼミが登米市沢田地区で「農山漁村集落体制づくり支援事業（事業主体：宮城県農政部農山漁村なりわい課）」の一環として行われた地域との交流会に参加しました。庄子ゼミでは、高齢化や人口減少が著しい農山漁村地域の課題解決を目的として、登米市沢田地区を対象とした「農山漁村集落体制づくり支援事業」へ協力しています。

登米市沢田地区は、中山間地域であり、棚田でとうもろこしの『味来（みらい）』を栽培していますが、後継者不足、販路が少ない、加工品が作れない（設備がない等）などの課題を抱えています。

【機械工学科】2つのエコランレースで学生が活躍～手作り自動車省燃費競技大会優勝～

9月17日、宮城県運転免許センターにて行われた「第33回手作り自動車省燃費競技大会（主催：自動車技術会東北支部）」に機械工学科自動車工学コースの学生が出場しました。この大会は、1リットルのガソリンで何km走行できるかを競うものですが、これに加えて規定時間内に規定周回数もクリアしなければなりません。

レースにエントリーした三木研究室的汽車号（中国語で「三木研究室の自動車」）は順調に周回を重ね、ノートラブルで規定周回を走り切り、大学・高専分門で唯一のチェッカーを受けて優勝しました!

キャリア支援

Career Support

「顔の見える支援」を基本に、学生一人ひとりに寄り添ってきめ細かくサポートします

石巻専修大学のキャリア支援の強み

就職相談員による「顔の見える支援」

就職相談員（キャリアコンサルタント等）を配置し、教職員が連携して「顔の見える支援」に力を入れています。

対面、またはオンラインでの相談

インターンシップ、就職活動など進路に関する相談は、学内での対面、またはオンラインで相談対応しています。長期休暇中などで来学できない場合でも、履歴書添削相談やオンライン模擬面接が可能です。（事前予約要）

就職活動総合セミナー

自分自身の課題を見つけて、面接試験対策を行い、直前の就職活動に備えます。

各種資格取得講座

在学中に指定された授業科目を履修して学ぶことによって、多様な免許や資格を取得することができます。授業だけでなく課外の資格講座によるサポートもあるため集中して取り組めます。職業人として必要な技能の習得を目的に、会計士講座、日商簿記講座、公務員試験受験対策講座、パソコンスキル（Microsoft Office Specialist、ITパスポート、基本情報処理技術者、3次元CAD）講座、TOEIC IP試験など、幅広い分野の資格取得を支援しています。また、高度資格取得者には、奨学金を給付する「キャリア支援奨学生」制度を設けています。

合同企業説明会

本格的な就職活動が始まる3月には、オンラインで約200社が参加して実施します。興味や関心のある企業・団体の情報を効率よく入手することができ、企業へのアピールの場にもなります。

就職支援システムS-net

就職活動を支援する求人検索システムS-netを設置。リアルタイムで求人データを検索できます。

学外機関連携

宮城県東部地方振興事務所と連携した「石巻圏域企業研究セミナー」、"地元就職応援プロジェクト「伴走型支援」"、石巻商工会議所と連携した"インターンシップ事業"、ハローワークアドバイザーによる求人紹介と就職相談などを行い、石巻圏域への就職を支援しています。この他、東北各県の就職支援団体と連携して情報発信と個別相談対応を行い、地元Uターンへの就職支援を行っています。

学外との連携による就職支援3つのポイント

1 専修大学主催セミナーへの参加

専修大学主催の「就職活動支援各セミナー」に専修大学の学生とともに参加します。SPIオンライン準備講座、SPIオンライン模擬試験など受講が可能です。

2 専修大学キャリア形成支援課の利用

首都圏で就職活動を行う拠点として、専修大学神田校舎、生田校舎のキャリア形成支援課を利用することができます。

3 ハローワークアドバイザーによる求人紹介とアドバイス

毎週木曜日、ハローワーク担当者が来学して「新卒応援ハローワーク相談コーナー」を開設しています。相談はもちろん、地元の求人情報の入手も可能です。

内定者の話を直接聞けるチャンス！

就職活動体験談

本学では、4年次の内定者が3年次生に直接アドバイスする機会として、就職活動体験談を開催しています。内定が決まった先輩たちは、どのように就職活動を行ってきたのか、より身近な視点で体験談が聞けるため、3年次生からは「とても参考になった」「自分も頑張ろうという気になった」などといった声が聞かれていました。

内定者VOICE

日本ハム総菜株式会社に内定

日本ハムグループの一員として、チキチキボーンなどの商品を作っており、これまでの自分の学びが活かせると思い志望しました。「顔の見える支援」は本学の大きな強みです。早期内定をめざして頑張ってください。

理工学部 鈴木 穂乃佳 さん

全国農業協同組合連合会宮城県本部（JA全農宮城）に内定

全農は生産者と消費者を結ぶ懸け橋のような存在です。将来を考えることは過去を振り返ることにつながります。進路支援室を活用し、就活の悩みを克服しながら、自分なりに納得ができる内定先を見つけてください。

理工学部 鈴木 雅士 さん

株式会社ユアテックに内定

東北電力グループとして幅広く活躍する総合設備会社です。在学中はサークル活動や教職課程など、様々なことをやりながら就活に取り組むことは可能だと思います。ぜひいろいろなことにチャレンジしてみてください。

理工学部 阿部 辰芳 さん

石巻市役所に内定

公務員試験をめざして勉強してきました。エントリーシートの添削や面接の練習はとても役立ちました。大学では様々な経験を積みながら、自分のやりたいことを見つけ、悔いのない学生生活を送ってください。

経営学部 服部 謙伸 さん

株式会社日本旅行東北に内定

就活はよく準備した者が勝つと思います。かといって焦る必要もなく、余裕を持って活動してほしいと思います。インターンシップは早めの参加がポイントです。失敗を恐れず、失敗を教訓にして突き進みましょう。

経営学部 甲斐谷 航太 さん

宮城県警察本部に内定

公務員は一般の企業と比べて特殊な点が多いですが、やりがいを実感しやすい仕事だと思います。私は警察官一本にしぼって活動しました。勉強の仕方や一次試験突破のコツなど、周りに相談しながらベストを尽くしてください。

人間学部 佐藤 大琉 さん

育友会活動報告

全国の育友会支部長からのメッセージ

支部懇談会青森会場▶

◀支部懇談会北上会場

支部懇談会仙台会場▶

◀支部懇談会東京会場

監査役
西川　敦子

監査役
山本　美智子

幹　事
佐々木　知子

幹　事
木見尻　亜紀

相談役
藤　原　　悟

ZOOM UP!

石鳳祭で育友会による餅つき大会&餅の振る舞いを行いました。

北海道・青森県支部

北海道・青森県支部長
杉沢　福巳

北海道、青森県支部長の杉沢福巳です。今年度もコロナ禍ではありましたが、感染防止対策を講じながら支部懇談会を無事、開催することができました。また、4年振りの通常開催となりました大学祭も、学生の皆さんにとって良い機会だったと思います。育友会でも大学祭で餅つき体験・餅のお振舞いが実施できて良かったです。次年度も引き続き、多くの参加者にお越し頂き意見、情報交換出来ればと思っております。

秋田県支部

秋田県支部長
芦原　清巳

秋田県支部長の芦原です。今年度はコロナ禍3年目を迎えましたが、やっと明るい兆しが見え始め、支部懇談会も無事開催することができました。また、念願の石鳳祭では育友会主催で餅つきが行われ、学生やお客様に大好評でした。今後とも育友会の一員として子供達の学業や就職に応援できればと考えています。来年度の支部懇談会へは気軽に参加して頂き、是非懇親を深めて頂ければ幸いです。皆様の参加を心よりお待ちしております。

岩手県支部

岩手県支部長
小原　美智子

岩手県支部長を務めさせていただきました小原美智子です。今年度は新型コロナウイルス感染対策を講じながら無事、北上会場の支部懇談会を開催することができました。お越しくださいました会員の皆様ありがとうございました。懇談会を通し、子供達の大学生活でのまだ制約もある中、自分にできることを模索しながらも精一杯、前向きに取組み、行動している様子を察することができました。また教職員の皆様の温かいご支援とご配慮を賜わり大変充実した会となりました。心より感謝申し上げます。来年度の支部懇談会には是非、より多くの会員の皆様のご参加を呼びかけますとともに、お会いできることを楽しみにしております。

山形県支部

山形県支部長
佐藤　直子

山形支部長を務めさせていただいております佐藤直子です。今年度も感染防止対策を講じながら、山形会場にて支部懇談会を無事開催することができました。ご多忙の中ご参加くださった会員の皆様、ありがとうございました。学業や就職について、日頃の学生の様子などを聴ける貴重な機会となりました。いつも温かく子供達を支えてくださる教職員の皆様に心より感謝申し上げます。次年度も、より活発な意見交換をしていけるよう、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

宮城県支部

宮城県支部長
遠藤　宏昭

宮城県支部長の遠藤です。今年度はコロナ禍でありましたが、感染防止対策を講じながら石巻会場と仙台会場で支部懇談会を無事開催することができました。石巻会場では大学を訪問して相談する機会ができました。また、仙台会場では特別企画「卒業生からのメッセージ」として企業の人事採用経験がある卒業生を招いた講話を行い大変好評でした。お越し頂きました会員の皆様ありがとうございます。次年度も引き続き実施していきますので、多くの方に参加いただけるよう、お待ちしております。

福島県支部

福島県支部長
石田　絢子

福島県支部長を務めさせていただきました石田絢子です。今年度も新型コロナウイルス感染対策を講じながら、無事福島会場の支部懇談会を開催することができました。お越し頂きました会員の皆様ありがとうございました。

ウィズコロナの中でも、学生たちはかけがえのない大学生活を有意義なものにしようと、一人ひとり自分にできることに精一杯前向きに取組んでいると思います。教職員の皆様には学生・保護者への温かいご支援とご配慮に心より感謝申し上げます。来年度の支部懇談会でも、たくさんの会員の方とお会いできることを楽しみにしております。

石巻専修大学育友会
主任からのメッセージ
Message

コロナ禍を乗り越えての育友会

育友会は、学生諸君のご家族の皆様と大学との間で緊密に連携を持つことにより学生諸君の学生生活と社会への旅立ちを支援するための組織です。

今年度の10月の大学祭（石鳳祭）は、4年ぶりの通常開催となり、育友会活動を広く多くの皆様に知っていただくとともに、育友会会員同士の交流を促すことを目的とした、育友会企画『餅つき体験と餅の振る舞い』を実施することができました。

特に、今回は新調した法被を身に着けてお披露目し、来場者に餅つき体験を楽しんでいただいた後、つきたてのお餅を来場者に振る舞い、学生だけでなく小さなお子さん連れのご家族も餅つきに参加し、大変盛り上がりました。

また、今年度は、東北6県と東京で「支部懇談会」が開催できたことは大変喜ばしく思います。実施したすべての会場では、令和4年度開設した、学生生活を下支えする「学生保健支援センター」の紹介を行い、学生一人ひとりにきめ細やかな対応をしている一端をお伝えすることができました。さらに、8月27日仙台会場の支部懇談会では、特別企画「卒業生からのメッセージ」として、企業の人事採用の経験がある卒業生を招いた講話を行い、充実した懇談会になりました。

以上のように、年度初めに計画した事業をすべて行うことができたのは、皆様のご協力のおかげであり、育友会の役員ならびに大学関係者一同衷心よりお礼を申し上げる次第です。

はじめにも述べましたように、育友会は“学生諸君の学生生活と社会への旅立ちを支援するための組織”です。それには、学生諸君の大学での勉学、課外活動、就職活動など石巻での生活の様子をできるだけ多くご家族の皆様にお伝えすることが重要な役割の一つだと考えています。さらに、育友会会員相互の情報交換と交流の場を提供していくことも大切なことだと考えております。

大学のホームページ内にある育友会ページは、大学のホームページのトップ画面の上部にある「保証人」をクリックすると「育友会」があり、それをクリックすると育友会のページを開くことができます。今後も、この育友会のページをどんどん活用して、先に述べたように石巻での学生諸君の生活の様子をご家族の皆様にできるだけ早く、そして多くお伝えしたいと思っています。

どうぞ、ご子女の勉学や大学生活についていつでもスマホなどで気軽にご相談ください（ikuyu@isenshu-u.ac.jp）。そうした不安或いは疑問に育友会の役員と教職員が協力してご返事させていただきます。そして、本学に対する忌憚のないご提言やご意見もお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

石巻専修大学育友会 主任
人間学部 特任教授
横江　信一

Activity Report

育友会活動報告

ごあいさつ

石巻専修大学育友会
会　長　三 浦　浩

会員の皆様には、育友会に対して日頃よりご支援ご協力を賜り、心から御礼申し上げます。育友会は「大学と学生の家庭との連絡を密にし、大学の発展・向上に寄与し、会員相互の親睦を図る」という役割を担うため、保護者の皆さまの要請を受けて平成3年（1991年）に発足いたしました。そして30年余り、ご子女の成長を見守りながら様々な活動を事業計画に基づき実施して参りました。

支部懇談会につきましては、新型コロナウイルスの感染防止対策に万全を期する体制を取ったうえで、東北6県（宮城県は石巻と仙台の2会場）と東京都（専修大学）の8会場で開催しました。参加者は全体で39組、延べ77名でございました。個別相談では、学業・就職活動・資格取得そして学生生活のことについて質問を頂き、学科所属の先生方に丁寧にお答えいただきました。会員の皆さまにおかれましては、ご子女が大学生活という生活環境に慣れながらも、学修面や生活面に支障なく取組めているか戸惑いや不安を感じることもお有りかと存じます。また上級生の会員の皆さまは、厳しい就職戦線の只中におられ、親としてどのように立ち居振る舞えばよいか悩むこともあろうかと思います。そうした戸惑いや不安等を解消いただけたと存じます。

今年度育友会では、育友会の活動を来場者に広く周知するとともに、育友会員同士の交流を図ることを目的に大学祭に参加して『餅つき体験と餅の振る舞い』を実施しました。餅つき体験では子供達が楽しそうに杵を振り下ろし、お母さま方はその姿を写真に撮っているのが印象的でした。用意した餅400個はすべて集まった方に振る舞うことができ、楽しいイベントになりました。

育友会では毎年度、学生への助成として就職活動用具の提供や、サークル活動への支援を行っております。またこの他に大学の防災・防犯面の支援や学生に有益な空間作りのための支援も行っております。

これからもご子女が、皆様方のご理解、励ましの中で大きく健全に大学を巣立っていくために育友会が多くの実績を積み重ね、役割を果たしてまいりたいと考えておりますので、会員皆様のご支援ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

令和4年度　育友会役員紹介

役　職	氏　名	学部／学科・学年
会　長	三 浦　浩（みうら ひろし）	経営／経営・4年
副会長 兼宮城県支部長	遠 藤　宏 昭（えんどう ひろあき）	人間／人間教育・3年
監査役	西 川　敦 子（にしかわ あつこ）	経営／経営・4年
監査役	山 本 美智子（やまもと みちこ）	人間／人間教育・3年
幹　事	佐々木 知 子（ささき ともこ）	人間／人間文化・2年
幹　事	木見尻 亜 紀（きみじり あき）	人間／人間教育・1年
北海道・青森県支部長	杉 沢　福 巳（すぎさわ ふくみ）	理工／生物科学・4年 理工／情報電子工・1年
秋田県支部長	芦 原　清 巳（あしはら きよみ）	人間／人間文化・3年
岩手県支部長	小 原 美智子（おばら みちこ）	経営／経営・3年
山形県支部長	佐 藤　直 子（さとう なおこ）	理工／食環境・3年
宮城県支部長	遠 藤　宏 昭（えんどう ひろあき）	人間／人間教育・3年
福島県支部長	石 田　絢 子（いしだ じゅんこ）	経営／経営・4年 人間／人間教育・3年
関東支部長	空　位	
九州・沖縄支部長	空　位	
相談役	藤 原　悟（ふじわら さとる）	経営／経営・H27卒

Business Report

令和3年度　事業報告について

新型コロナウイルス感染症への必要な対応を講じながら、令和3年度の事業は以下のとおりとしました。

1　育友会員との連絡強化と育友会広報活動

(1) 会員ご子女の『修学状況通知書（成績）』、『履修届(写)』を送付した。
(2) 大学の概要や育友会の活動等を広く広報するため、会報『いくゆう』（第28号）を発行した。
(3) 学校法人専修大学が発行し、本学を含む2大学の活動状況を伝える新聞『ニュース専修』を毎号送付した。（年11回）
(4) 「育友会ホームページ」にて各種行事等の案内や情報提供を継続して行った。

2　会議の開催

以下のとおりとした
(1) 定期総会　令和3年7月31日（土）【書面決議】
(2) 役員・幹事・支部長会　令和3年10月9日（土）【石鳳祭】※中止
令和4年3月20日（日）【学位記授与式】【書面決議】

3　育友会支部懇談会の開催

(1) 7月31日（土）の定期総会にあわせて支部懇談会を行った。
(2) 東北6県で支部懇談会を行った。
開催地域　青森市（青森県）、秋田市（秋田県）、北上市（岩手県）、山形市（山形県）、仙台市（宮城県）、福島市（福島県）
開 催 日　① 11月27日（土）、28日（日）
② 12月4日（土）、5日（日）
③ 12月11日（土）、12日（日）

4　大学祭への参加

(1) 新型コロナウイルス感染症が繰り返し拡大したため、10月の大学祭（石鳳祭）がWEB大学祭となり、育友会企画『餅つき体験と餅の振る舞い』が実行できなかった。そのため、非対面での大学を運営する石鳳祭実行委員会の学生に紅白餅をふるまい、大学祭を応援した。

5　学生への助成

(1) 3年次生が就職活動を開始するために必要となる就職活動用グッズを配付した。

6　学生に対する援助

(1) サークル活動に対する援助を行う。特に全国大会への出場等で特別な支出が必要となったサークル（硬式野球部、女子競走部等）には手厚く支援した。

7　卒業記念行事

(1) 大学及び同窓会と提携して、令和4年3月20日（日）学位記授与式挙行後に実施を予定していた「卒業を祝う会」は中止とした。

8　福利厚生費の活用

(1) 学生の安全と安心につながるための、防災用品および備蓄品を購入するための経費として大学へ寄付した。
(2) 学生生活の環境を充実させるため、昨年土全学部学生に電子体温計を配布したことから、今年度の1年次生にも電子体温計を配付した。

9　活動強化事項

(1) 大学と家庭（会員:保護者）との連携強化を図るため、支部懇談会への参加者を増加させる取り組みは、行うことができなかった。
(2) 支部ごとに会合等を開催する場合には地方支部交付金を支給し、経費の補助を行うとしていたが、要望等が無かったため支出しなかった。
(3) 支部懇談会では、地元で活躍する卒業生又は就職活動で内定を得た4年次生の就職活動体験報告を行う機会を設ける予定であったが、実施しなかった。

以　上

令和3年度　育友会収支決算書

［自］令和3年4月1日　［至］令和4年3月31日

●収入の部

単位：円

科　目	予算額(A)	決算額(B)	比較増・減(A)－(B)	備　考
① 会費	13,860,000	13,800,000	60,000	会費@10,000×1,380名
② 雑収入	1,000	220,432	△ 219,432	預金利子、令和2年度 硬式テニス部援助金未使用戻入(220,299円)
収入計	13,861,000	14,020,432	△ 159,432	
前年度繰越金	7,811,592	7,811,592	0	
合　計	21,672,592	21,832,024	△ 159,432	

●支出の部

単位：円

科　目	予算額(A)	決算額(B)	比較増・減(A)－(B)	備　考
① 会議費	113,000	11,880	101,120	
総会費	50,000	0	50,000	定期総会開催費
役員会費	60,000	11,880	48,120	常任役員・幹事・支部長会開催経費
その他の会合費	3,000	0	3,000	大学関係者との会合開催経費
② 通信費	1,900,000	1,484,355	415,645	
会報発送費	100,000	98,420	1,580	「いくゆう」発送費
ニュース専修発送費	1,100,000	1,087,276	12,724	発送費(年11回)
その他の通信費	700,000	298,659	401,341	育友会案内発送費、学業成績発送費、事務連絡発送費、はがき代、切手代
③ 事務費	1,860,000	384,965	1,475,035	
旅費交通費	1,010,000	38,870	971,130	常任役員・幹事・支部長会の旅費交通費
消耗品費	500,000	119,139	380,861	事務用消耗品、公衆衛生用消耗品、大学祭参加のための消耗品
事務委託費	350,000	226,956	123,044	ニュース専修発送手数料、「いくゆう」発送委託料
④ 印刷費	900,000	513,425	386,575	支部懇談会等資料印刷、封筒印刷、「いくゆう」制作・印刷
⑤ 支部懇談会費	2,800,000	2,079,476	720,524	会場借用料、担当者旅費交通費
⑥ 支部交付金	140,000	0	140,000	地方支部運営交付金(会合費等の補助)
⑦ 学生助成金	300,000	231,380	68,620	就職活動用グッズ等購入代
⑧ 学生援助費	5,000,000	3,918,200	1,081,800	サークル活動援助金(強化指定団体・全国大会出場団体等を重点的に支援)
⑨ 卒業記念費	220,000	0	220,000	「卒業を祝う会」開催経費
⑩ 慶弔費	100,000	0	100,000	会員・学生の慶弔費
⑪ 福利厚生費	2,500,000	1,096,134	1,403,866	学生生活の環境を充実させるための経費、防災用品および備蓄品等の経費、学生生活の環境を充実させるための経費として電子体温計代(1年次生343名分)
⑫ 雑費	120,000	54,450	65,550	銀行振込手数料
⑬ 予備費	5,719,592	97,900	5,621,692	硬式野球部・女子競走部の全国大会出場に伴う新聞広告代
支出計	21,672,592	9,872,165	11,800,427	
次年度繰越金	0	11,959,859	△ 11,959,859	
合　計	21,672,592	21,832,024	△ 159,432	

Activity Report
育友会活動計画

Business Plan

令和4年度　事業計画について

新型コロナウイルス感染症への必要な対応を講じながら、今年度の事業は以下のとおりとします。

1　育友会員との連絡強化と育友会広報活動

(1) 会員ご子女の『修学状況通知書(成績)』、『履修届(写)』を送付する。
(2) 大学の概要や育友会の活動等を広く広報するため、会報『いくゆう』(第29号)を発行する。
(3) 学校法人専修大学が発行し、本学を含む2大学の活動状況を伝える新聞『ニュース専修』を毎号送付する。(年11回)
(4) 「育友会ホームページ」にて各種行事等の案内や情報提供を継続して行う。

2　会議の開催

育友会の円滑な運営を行うため次の会議を開催する。
(1) 定期総会　令和4年7月2日(土)
(2) 役員・幹事・支部長会　令和4年10月9日(日)【石鳳祭】
令和5年3月20日(月)【学位記授与式】

3　育友会支部懇談会の開催

支部懇談会を8会場で開催する。

開 催 日	開 催 地	会　場
7月　2日(土)	宮城(石巻)	石巻専修大学
7月16日(土)	岩手(北上)	ブランニューキタカミ
7月17日(日)	青　森	ホテルJALシティ青森
8月27日(土)	宮城(仙台)	TKP ガーデンシティ仙台
8月28日(日)	秋　田	ANA クラウンプラザホテル秋田
9月　3日(土)	山　形	山形国際ホテル
9月10日(土)	福　島	ホテル福島グリーンパレス
9月10日(土)	東　京	専修大学神田校舎

4　大学祭への参加

(1) 育友会の企画として大学祭に参加する。大学祭への参加は、育友会の活動を来場者に広く周知するとともに、育友会員同士の交流を促すことを目的に試行的に実施する。
企画の実施が可能な場合　『餅つき体験と餅の振る舞い』
※企画の実施ができない場合は、石鳳祭実行委員会の要望に沿った支援を行う。

5　学生への助成

(1) 3年次生が就職活動を開始するために必要となる就職活動用グッズを配付する。

6　学生に対する援助

(1) サークル活動に対する援助を行う。特に全国大会への出場等で特別な支出が必要となった際(硬式野球部、女子競走部、弓道部等)には手厚く支援する。
(2) 学生会主催行事があった場合には援助を行う。

7　卒業記念行事

(1) 大学及び同窓会と提携して、令和5年3月20日(月)学位記授与式挙行後、「卒業を祝う会」を実施する。

8　福利厚生費の活用

(1) 学生の安全と安心につながるための、防災用品および備蓄品等を購入するための経費として大学へ寄付する。

9　活動強化事項

(1) 大学と家庭(会員:保護者)との連携強化を図るため、支部懇談会への参加者を増加させる取り組みを行う。この取り組みの一つとして、支部懇談会参加者に記念品を配る。
(2) 支部ごとに会合等を開催する場合には地方支部交付金を支給し、経費の補助を行う。
(3) 参加者の多い支部懇談会場には、地元で活躍する卒業生又は就職活動で内定を得た4年次生の就職活動体験報告を行う機会を設ける。
(4) 支部懇談会への参加者を増やすため、7月2日(土)支部懇談会終了後に、昨年12月に第9代学校法人専修大学総長に就任された日髙義博先生による講演会「社会の中にあって社会に立つことの意義」に開催を協力する。

以　上

令和4年度　育友会収支予算書

[自]令和4年4月1日　[至]令和5年3月31日

●収入の部

単位:円

科　目	4年度予算額(A)	3年度予算額(B)	対前年度増・減(A)−(B)	備　考
① 会費	14,040,000	13,860,000	180,000	会費@10,000×1,404名
② 雑収入	1,000	1,000	0	預金利子
収入計	14,041,000	13,861,000	180,000	
前年度繰越金	11,959,859	7,811,592	4,148,267	
合　計	26,000,859	21,672,592	4,328,267	

●支出の部

単位:円

科　目	4年度予算額(A)	3年度予算額(B)	対前年度増・減(A)−(B)	備　考
① 会議費	113,000	113,000	0	
総会費	50,000	50,000	0	定期総会開催費
役員会費	60,000	60,000	0	常任役員・幹事・支部長会開催経費
その他の会合費	3,000	3,000	0	大学関係者との会合開催経費
② 通信費	1,900,000	1,900,000	0	
会報発送費	100,000	100,000	0	「いくゆう」発送費
ニュース専修発送費	1,100,000	1,100,000	0	発送費(年11回)
その他の通信費	700,000	700,000	0	育友会案内発送費、学業成績発送費、事務連絡発送費、はがき代、切手代
③ 事務費	1,860,000	1,860,000	0	
旅費交通費	1,010,000	1,010,000	0	常任役員・幹事・支部長会の旅費交通費
消耗品費	500,000	500,000	0	事務用消耗品、公衆衛生用消耗品、参加者記念品、大学祭参加のための消耗品
事務委託費	350,000	350,000	0	ニュース専修発送手数料、「いくゆう」発送委託料
④ 印刷費	900,000	900,000	0	支部懇談会等資料印刷、封筒印刷、「いくゆう」制作・印刷
⑤ 支部懇談会費	2,800,000	2,800,000	0	会場借用料、懇談会食事代、担当者旅費交通費、外部講師講演代、卒業生等の講話謝礼金、支部懇談会打合食事代
⑥ 支部交付金	140,000	140,000	0	地方支部運営交付金(会合費等の補助)
⑦ 学生助成金	300,000	300,000	0	就職活動用グッズ等購入代
⑧ 学生援助費	5,000,000	5,000,000	0	サークル活動援助金(強化指定団体・全国大会出場団体等を重点的に支援)
⑨ 卒業記念費	220,000	220,000	0	「卒業を祝う会」開催経費
⑩ 慶弔費	100,000	100,000	0	会員・学生の慶弔費
⑪ 福利厚生費	2,500,000	2,500,000	0	学生生活の環境を充実させるための経費、防災用品および備蓄品等の経費
⑫ 雑費	120,000	120,000	0	銀行振込手数料
⑬ 予備費	10,047,859	5,719,592	4,328,267	硬式野球部・女子競走部等の全国大会出場に伴う新聞広告代他
合　計	26,000,859	21,672,592	4,328,267	

石巻専修大学　育友会会則

平成3年4月1日　制定

■名称
第1条　この会は、石巻専修大学育友会(以下「本会」という。)と称する。

■目的
第2条　本会は、石巻専修大学(以下「大学」という。)の方針に則り、大学と学生の家庭との連絡を緊密にして大学の発展向上に寄与し併せて会員相互の親睦を図ることを目的とする。

■本部及び支部
第3条　本会は、本部を大学内に置き、全国の必要な地区に支部を置く。
2　支部細則は、別に定める。

■会員
第4条　本会は、次の会員をもって組織する。
(1) 正 会 員　大学の学部に在籍する全学生の父母又はこれに代わる保護者
(2) 特別会員　大学に勤務する教職員

■事業
第5条　本会は、次の事業を行う。
(1) 学生の学業・徳操並びに生活に関し家庭との連絡を図る事項
(2) 学生の厚生・保健並びに医療の助成に関する事項
(3) 学生の研究助成並びに経済援助に関する事項
(4) 教職員と父母との懇談会を開催する事項
(5) その他本会の目的を達成するために必要な事業

■運営経費
第6条　本会の運営経費は、会費及び寄付金をもって充てる。

■会費及び寄付金
第7条　正会員は、会費として別に定める金額を、毎年度の始めに納入しなければならない。
2　寄付金がある場合は、随時本会へ納入する。

■役員
第8条　本会に、役員として会長1名、副会長4名以内、監査役2名及び幹事若干名と各支部に支部長を置く。

■役員の選出
第9条　会長、副会長及び監査役は、幹事会において選出し、総会において報告するものとする。
2　幹事は、会員の中から会長がこれを委嘱する。
3　支部長は、各支部において選出し、会長がこれを委嘱する。

■役員の任期
第10条　本部役員の任期は、4月1日から翌年3月31日までの1年とする。ただし、再任を妨げない。

■役員の職務
第11条　会長は、本会を代表し、会務を統括する。
2　会長が不在のとき、又は欠けたときは、副会長がその職務を代行する。
3　副会長は、会長を補佐する。
4　監査役は、会務及び会計を監査し、総会に報告する。
5　幹事は、会長の命を受け、必要に応じてこの会の業務を行う。
6　支部長は、各支部を掌握し、本部との連絡を緊密にする。

■会議の招集
第12条　本会に、総会、幹事会、常任役員会及び支部長会を置き、それぞれ会長が招集し、その議長となる。

■会議の構成及び開催
第13条　総会は、正会員と特別会員で構成し、定期総会と臨時総会を開催する。
(1) 定期総会は、年1回開催する。
(2) 臨時総会は、必要に応じて開催する。
2　幹事会は、常任役員会構成員及び幹事で構成し、必要に応じて開催する。
3　常任役員会は、会長、副会長、監査役及び育友会主任で構成し、必要に応じて開催する。
4　支部長会は、常任役員会構成員及び各支部長で構成し、定期に年1回開催する。

■会議の審議事項及び議決
第14条　総会は、予算、決算及び事業計画、その他重要事項を審議する。
2　幹事会は、総会提出議案、その他重要事項を審議する。
3　常任役員会は、総会並びに幹事会における決定事項を執行し予算案及び決算書類を作成し、その他重要事項を審議する。
4　支部長会は、地方懇談会の開催、その他重要事項を審議する。
5　第1項及び第2項の議決は、出席会員の過半数の同意によるものとする。

■名誉顧問、顧問及び相談役
第15条　本会に、名誉顧問、顧問及び相談役を置くことができる。

■育友会主任及び事務職員
第16条　本会に、大学より選任された育友会主任及び事務職員を置く。
2　育友会主任は、大学の教授若しくはこれに準ずる者とし、その任免権は学長に帰属する。
3　育友会主任は、大学選出の役員として常任役員会、幹事会、総会等に出席し、本会の運営に対して助言と指導を行う。
4　事務職員は、大学職員とし、その選任は学校法人専修大学理事長の所管とする。
5　事務職員は、本会の経理及び会務を管掌する。

■資産管理
第17条　本会の資産管理の責任は、会長及び常任役員会が負うものとする。

■会計年度
第18条　本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

■会則の改廃
第19条　この会則の改廃は、総会の議決によらなければならない。

■附　則
この会則は、平成3年4月1日から施行する。
この会則は、平成7年7月22日から施行し、平成7年4月1日から適用する。

i 育友会とは

石巻専修大学の方針に則り、学生のご父母(保証人)の皆様を正会員とし、大学と家庭との連絡を密にして、学生のより良いキャンパスライフと大学の発展向上に寄与し、伴せて会員相互の連携を図ることを目的として設置されているのが育友会です。大学内に本部を置き、会員の多い県に支部を設置し、様々な活動を行っています。

育友会は各支部の活動をサポートいたします

支部懇談会以外にも保証人同士のつながりを増やしたい、支部の活動を充実させたい、など育友会の活動に要望がございましたら、お近くの支部にご連絡ください。各支部と連携し、より良い体制づくりを進めてまいります。

ご連絡
石巻専修大学 育友会
TEL.0225-22-7743

学長メッセージ

Message from the President

皆様の声を活かした改革を進め、学生生活での満足度の向上を目指します。

石巻専修大学
学　長　尾　池　　守

育友会はご家族の皆様と大学を結ぶ信頼の架け橋

育友会会員の皆様には日頃より石巻専修大学に対してご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。大学では、コロナ禍のなか十全な対策の下、原則対面による授業を行っており、お陰様で大きな支障もなく授業を運営しております。

育友会は学生諸君のご家族の皆様と大学とが緊密に連携を図るための組織です。育友会の活発な活動を基盤とした大学に対するご提言は、大学のこれからを考えるうえで、極めて重要なことと受け止め、学業や進路だけでなく、健康や住居等さまざまな観点から学生諸君を支援すべく具体的な改善を進めています。

育友会の活動の中でも最大の事業であります「支部懇談会」は、新型コロナ感染対策を徹底し、東北6県（宮城県は石巻と仙台）と東京都（専修大学）の8会場で展開いたしました。支部懇談会におきましては、大学の様子を会員の皆様にお伝えするとともに、学業や就職の課題など、会員の皆様と教職員が個別に情報交換をさせていただきました。また、4年振りの通常開催となりました「2022石鳳祭」では、「餅つき体験&餅の振る舞い」イベントを実施していただき誠にありがとうございました。

「中長期ビジョン」に基づく教育改革

石巻専修大学は創立30周年を迎えた令和元年を改革元年とし、今後10年を見据えた「中長期ビジョン」に基づく教育改革を進めています。時代の変化と社会の要請に対応するため、令和3年4月には経営学部に情報マネジメント学科を新設し、令和4年4月には理工学部と人間学部の教育課程の新編を行い、「地域に根差して世界に尖がった大学」をめざしています。

また、学生一人ひとりの個性を尊重し、主体的に学生生活を送ることができるよう「学生保健支援センター」を設置しました。ここでは授業や課外活動、進路に関わること、また心身両面の健康や人間関係など、学生生活を送るうえで起こる様々な困りごとに対応しています。本学では今後も多くの皆様のご意見やご要望に応えながら、学びの質的向上はもちろん、より満足度の高い学生生活をバックアップしてまいります。

ご子女には5年後、10年後を見据えながら「これなら勝てる」「これこそ得意」というものを見つけ、社会に出ても生涯学び続けることができる人材に育ってほしいと願っております。ご子女が自分の夢の実現に向けて、大きな希望を胸に大学を巣立っていけますよう、育友会の皆様のご支援、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

石巻専修大学中長期ビジョン（2020~2024年度）

1. 社会の諸課題解決に活用できる知識・技能を修得した人材を育成する。
2. 教育研究活動を充実させる。
3. 学習の質を向上させる環境を整備する。

石巻専修大学育友会広報誌　［いくゆう］
IKUYU vol.29
2022.12
発行者／石巻専修大学育友会　〒986-8580 宮城県石巻市南境新水戸1

育友会に関するご相談がございましたら遠慮なくご連絡ください。
TEL 0225-22-7743
FAX 0225-22-7710
E-mail　ikuyu@isenshu-u.ac.jp